(2011-42402)

試験場名 (社)日本植物防疫協会 茨城研究所

土壌残留分析試料調製明細書

(試験期間 2011年 7月 ～ 2011年 8月)

1．被験物質

(1) 一般名・剤型 木酢液((株)尾鷲林業製)

(2) 有効成分名及び成分含有率 ――――

(3) 被験物質の Lot No. 10-0906

2．作物名 裸地 品種名 ―― 露地・施設の別 露地

3．試料調製実施機関名 (社)日本植物防疫協会 茨城研究所

試料調製圃場所在地(1/50,000の地図に位置を記す) 研究所内圃場

4．試料調製責任者氏名 [redacted]

5．土壌特性

(1)土壌群（土壌統群）： 淡色黒ボク土

(2)成因：火山灰・沖積・洪積等の概記 火山灰

(3)粒径組成及び土性（国際土壌学会等による分類）：粘土19.5%；シルト47.0%；極細砂12.4%；

細砂16.0%；中砂4.6%；粗砂0.5%；極粗砂<0.1% 土性：壌土(L)

(4)主要粘土鉱物の種類： アロフェン

(5)土壌ｐＨ：6.3(H_2O)、5.8(KClまたは$CaCl_2$)

(6)有機炭素含量：52.8 g/kg

(7)陽イオン交換容量（ＣＥＣ）：31.5 $cmol_c$/kg

(8)その他（リン酸吸収係数、最大容水量等）：20.4g/kg(リン酸吸収係数)、1037g/kg(最大容水量)

(9)減水深（水田の場合）： ――――

6．過去１年間に作付けした作物および使用した農薬（別紙としても構いません）

作付け無し。

農薬使用せず。

7．栽培概要（播種期，育苗法，移植期，施肥の種類・量及び時期，収穫期等）

作付け無し

9．被験物質以外に使用した農薬（別紙としても構いません）

農薬使用せず。

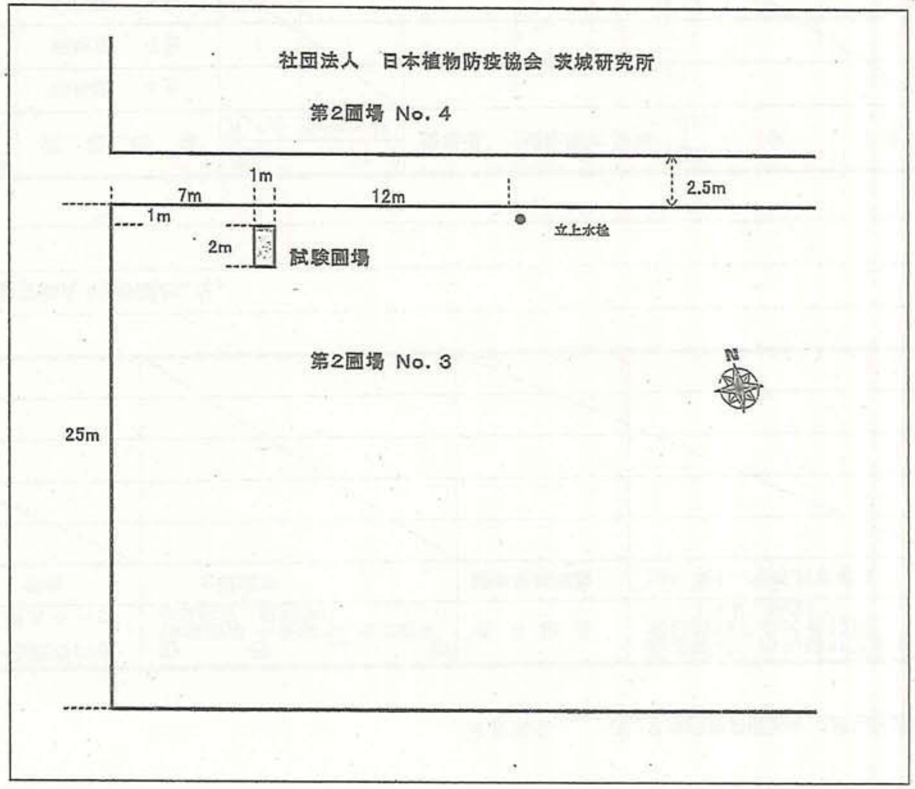
10．試験区

(1) 1試験区の面積および本（株）数 2m² (1m×2m)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ ――――

(3) 試験区の配置図（試験区全体および周辺地域等の状況がわかるように記入して下さい。）

ア）下記□内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。
イ）果樹１樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
ウ）試験区間および試験区と無処理区の間の距離を記入して下さい。
エ）圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入し、水田は給水口および排水口を記入して下さい



(2011-42402)

試験場名　(社)日本植物防疫協会　茨城研究所

11．処理方法

区分／回数	使用時期 年/月/日	使用濃度	処理量 10a当たり	処理量 試験区当(農薬量/散布量/面積)	処理時の生育ステージ	処理方法(全面施用,作条施用,植穴施用,水面施用,灌注等)	使用機具	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況(風向、風速)
第 1 回	2011年7月25日	5倍	3000L	1.2L/6.0L/2m²	裸地	土壌灌注	園芸用如雨露	7:50，晴れ，微風,終日晴れ

（1）展着剤　使用せず

（2）備考　薬液調製は内希釈とした。すなわち，5倍液の調製には薬剤(木酢液)1Lに対し水4Lの割合で加えて5倍液とした。

園芸用如雨露を用いて所定量の薬液を均一に散布した。

12．試料採取

区分／回数	採取時期	採取 月／日	採取 試料番号	採取量	採取時の天候	送付 月/日	備考
1	1 回処理 直前	7/25	B	0.74kg	晴れ	—	無処理
2	1 回処理 直後	7/25	A−1	0.72kg	晴れ	—	1時間後に採取
3	1 回処理 7日後	8/1	A−2	0.77kg	曇り	—	

区分／回数	採取時期	採取 月／日	採取 試料番号	採取量	採取時の天候	送付 月/日	備考
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	
	回処理 日後	/				/	

試料採取方法(使用した器具、採取方法の詳細)

試験区を4区画に分け，採取日に各区画のほぼ中央の1地点より，直径5cmのサンプリングボーラを用いて地表面より10cmの深さまで柱状に採取し，4区画分を混合して1試料とした。

13．採取後の調製・梱包方法

試料は2重のポリ袋に入れて密封し，直ちに−20℃の冷凍庫で凍結保存した。

試料送付先　試験依頼者：木酢液認証協議会の担当者に冷凍保存した試料を平成23年8月1日に直接手渡した。

14．気象表　(別添)

15．備　考

(2011-42402)

気　象　表

観測地点　　茨城県牛久市結束町535　(社)日本植物防疫協会 茨城研究所 露場(定点観測)

気温:(1 時間毎)　　降水量:日界 0 時

記号 ; ○:薬剤処理日
△:土壌試料採取日

(2011年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	気温(最高)																									32.1	30.0	30.3	27.6	26.9	27.5	24.2
	気温(最低)																									22.1	21.8	23.0	22.9	22.4	22.2	21.1
	気温(平均)																									26.4	25.5	25.8	24.7	24.2	24.0	22.2
	降水量																									—	—	—	20.5	10.5	8.5	4.0
	薬剤処理／試料採取																									○△						
	区記号(試料番号)																									B, A-1						
8	気温(最高)	25.8																														
	気温(最低)	20.4																														
	気温(平均)	22.4																														
	降水量	0.5																														
	薬剤処理／試料採取	△																														
	区記号(試料番号)	A-2																														
	気温(最高)																															
	気温(最低)																															
	気温(平均)																															
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(最高)																															
	気温(最低)																															
	気温(平均)																															
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号(試料番号)																															

薬剤処理日(ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(送付カードと同様の番号)を当該欄へ記入する。

試験検査成績書

第11100979－001-1 号
平成23年8月15日

日本特用林産振興会 殿

財団法人 日本食品油脂検査協会
東京 東京都中央区日本橋浜町3丁目27番8
大阪 大阪府大阪市北区天神橋8丁目8番2号

平成23年8月1日，当協会に依頼された供試品の
試験検査結果は下記のとおりです。

供試品	No1 処理前土壌 土壌200gに蒸留水400ccを加え、30分間攪拌した後ろ過した溶液について

試験検査結果

項目	検査結果	単位	検出限界	方法	
特殊試験					
pH	7.1			pHﾒｰﾀｰ	
比重	1.004			浮ひょう法	※1
酸度	0	%	0.1	滴定法	※2
有害成分					
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	検出せず	ppm	2	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	

※1 15℃
※2 酢酸として

本試験検査成績書を掲載するときは当協会の承認を受けてください

試験検査成績書

第11100979－002-1 号
平成23年8月15日

日本特用林産振興会 殿

財団法人 日本食品油脂検査協会
東京 東京都中央区日本橋浜町3丁目27番8
大阪 大阪府大阪市北区天神橋3丁目8番9号

平成23年8月1日，当協会に依頼された供試品の
試験検査結果は下記のとおりです。

供試品	No2 処理直後の土壌 土壌200gに蒸留水400ccを加え、30分間攪拌した後ろ過した溶液について

試験検査結果

項目	検査結果	単位	検出限界	方法	
特殊試験					
pH	7.2			pHﾒｰﾀｰ	
比重	1.003			浮ひょう法	※1
酸度	0	%	0.1	滴定法	※2
有害成分					
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	検出せず	ppm	2	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	

※1 15℃

※2 酢酸として

本試験検査成績書を掲載するときは当協会の承認を受けてください

試験検査成績書

第11100979－003-1 号
平成23年8月15日

日本特用林産振興会 殿

財団法人 日本食品油脂検査協会
東京 東京都中央区日本橋浜町3丁目27番8
大阪 大阪府大阪市北区天神橋3丁目8番9号

平成23年8月1日，当協会に依頼された供試品の
試験検査結果は下記のとおりです。

供 試 品	No3　処理1週間後の土壌 土壌200gに蒸留水400ccを加え、30分間攪拌した後ろ過した溶液について

試験検査結果

項目	検査結果	単位	検出限界	方法	
特殊試験					
pH	7.4			pHﾒｰﾀｰ	
比重	1.004			浮ひょう法	※ 1
酸度	0	%	0.1	滴定法	※ 2
有害成分					
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	検出せず	ppm	2	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	

※ 1 15℃

※ 2 酢酸として

本試験検査成績書を掲載するときは当協会の承認を受けてください